

『新学長としての抱負』



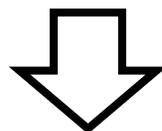
学校法人 佑愛学園
 **愛知医療学院短期大学**
ゆうあいリハビリクリニック
ゆうあいこども園(2020年開園予定)

学長 石川 清

学長就任に当たって

医療界と教育界 病院経営と学校経営

全く別の世界
組織としてみた時類似点も多い



自分の経験を生かしてできることは

教育者 ~~×~~ 研究者の長 管理運営の実務者

教職員や学生の皆さんがやりがいを持って働
き・学ぶことができるようにサポートすること

学長就任に当たって

雑誌「私学経営」『小規模私立短期大学の憂苦』

● 私の私学考：小規模私立短期大学の憂苦

私の私学考 391



小規模私立短期大学の憂苦

愛知医療学院短期大学 学長 舟橋啓臣



1. 愛知医療学院短期大学（本学）へ入職するまでの過程

まさか教育界に身を置くことになろうとは予想すらしなかった。筆者は根っからの臨床外科医であり、2010年に県立病院の院長を定年退職するまでは、大学病院の助教・講師を経て40年以上の長きにわたり一線で手術や外来診察に熱心に取り組んだ。大きな病院の院長は定年退職とともに老人保健施設などに勧誘されることが多く、筆者も2、3のそういった施設からオファーがあった。それ以外に、高等教育機関という全く異なった分野か

学長就任に当たって

本学の特色を最大限に活かし、求められる役割を積極的に果たし、ソフト面の充実を図ることで内部質保証を実質的なものにし、一致団結して進化していくしか術はない。そのためには教職員1人ひとりの努力が不可欠であり、教職員全員が心を寄せ合い、協力し合っていくために学長として努力したい



私の新学長として目指すべき道筋

舟橋前学長

人口変動等

清須市およびこの地域

- 名古屋都市圏に位置
- 交通の利便性が良い
- 通学通勤には好条件
- 全国的な少子高齢化
- 徐々に高齢化は進行
- 人口が伸び続けている数少ない地域
- 出生率は高い水準
- 高齢者の社会参加を促進
- 介護予防・日常生活支援
- 健康でいきいきと暮らせるまちづくり
- 若年層の定住化
- 子育て支援施策の充実



本学園への期待

- 高齢者のリハビリを担う理学療法士、作業療法士を養成する本学の重要性は高い
- 子育て支援施策の一助としてのこども園にも大きな期待

短大運営

本学が直面している課題

2018年問題、大学の統廃合、短大から4年制大学への改組、入学者数の減少、留年・中途退学者の増加

国の方針

経営困難な学校法人は撤退を含めた早期の経営判断を求める

本学の経営はここ数年、非常に厳しい現状
経営改善は本学の喫緊の課題！！

今後、大学改革・経営改善によって、今まで培ってきた歴史と伝統を守り、特色ある事業・研究を柱として、独自色を打ち出し、存在価値を高め、地域から必要とされる存在になる必要

本学の歴史と伝統

本学の強み

37年の歴史と伝統、リハビリに特化した単科の短期大学、3年間で卒業でき国家試験を合格すれば100%の就職率

舟橋前学長のリーダーシップのもと様々な改革

ハード面(学生ホール、ラーニングコモンズ、学生フラザ棟の新築など)及び、ソフト面(教育の質的向上、入学前教育・初年次教育の充実、学生支援の充実など)

教職員による様々な特色ある研究・支援活動

高齢者に対する介護予防活動、障がい者スポーツ支援活動、保育園との連携事業、認知症・発達障害・ロボット研究など

舟橋前学長、教職員の皆様のご努力に敬意を表したい

本学の更なる発展への布石

第一期中期実行計画(2014年～2018年) (2012年の創立30周年記念式典にて)

4つの基本方針が策定・実践 ①クリニック設立、
②4年制大学への改組、③認定こども園設立、
④短期大学キャンパス整備



城南キャンパスの売却・移転、新校舎建設
用地購入および新校舎建設計画進行中



第二期中期計画(2019年～2023年)

短大とクリニックの明るい将来展望
こども園の開園準備と早期の安定稼働

佑愛学園の目指すもの

第二期中期計画(2019年～2023年)

短大とクリニックの明るい将来展望
こども園の開園準備と早期の安定稼働

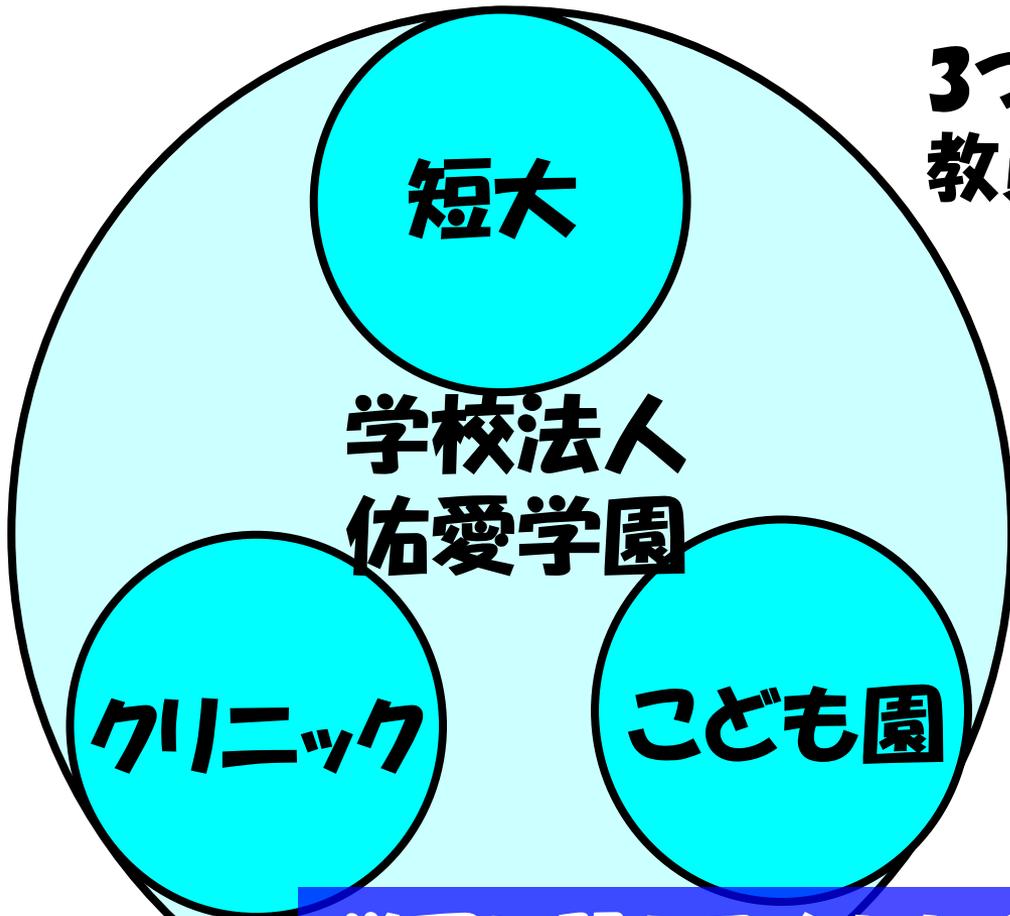
2019年(本年)は第二期中期計画のスタートとなる年

第二期中期計画の具体的な取り組みは、全教職員の意見を踏まえて項目毎のアクションプランを策定、理事長はじめ学長および全教職員の総意のもとに全学園一丸となって取り組むこと

従来、本学は短大単体としての改革・発展 しかし、これからは・

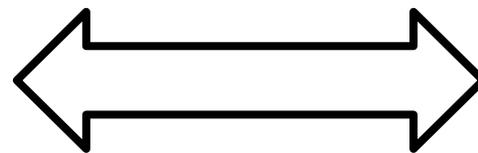
佑愛学園の目指すもの

3つの組織が三位一体



3つの組織の間に壁を作らない
教員と職員、PTとOTの間にも

強固に連携



地域にしっかりと根差した

地域・行政

学園に関わる人たち全員が一丸となって
目指すべきビジョンに向かって進むこと！

佑愛学園のイメージ像

クリニックを受診した地域のお年寄りに、短大の学生が寄り添い、こども園のこどもと一緒に歓談する姿

お年寄り、学生、こどもの3世代が、お互いを思いやり、助け合いながら、日々日常の生活の中で交流する姿



佑愛学園のイメージ像として広く社会にアピール
この地域で佑愛学園が広く周知されること
短大、クリニック、こども園それぞれの組織にも付加価値

クリニックにおける取り組み

高い専門性を持った教員によるリハビリ

- 医療系大学教員の3つの柱(教育、研究、診療)の一つ診療を実施する場
- 多くの優秀なOT・PT教員が在籍
- 本学教員によるクリニックでの特色ある診療は、他のクリニックにまねのできないもの
- 学生にとって臨床実習の場であり、学生教育の場



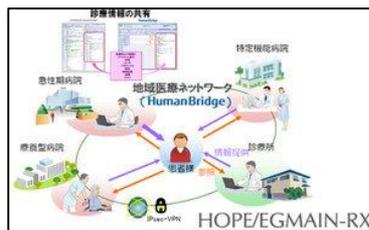
クリニックにおける取り組み

他の医療施設との連携

地域の病院や診療所と密接に連携し、地域の医療ニーズに応じて、他の病院や診療所と連携しながら、当クリニック独自の役割を果たす

電子カルテシステムの導入

他の医療施設との連携を深めるためには患者情報の共有ができる電子カルテの導入は不可欠、電子カルテの設置を基本としてネットワークの構築



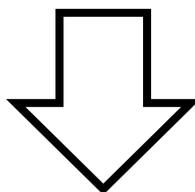
流れに乗らないことはクリニックの存続にかかわる！

短大における取り組み

① 地域社会に貢献する学園

国が押し進めている大学の将来像

地域の大学を中心として、地方公共団体、産業界を巻き込んで地域特有のグランドデザインを策定・実現すること



本学園の将来像

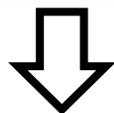
本学を中心として、清須市、近隣の地域の企業(株式会社和田製作所、株式会社パロマ、株式会社アラクス、株式会社メティセオ等)を巻き込んで共同研究や社会貢献事業のグランドデザインを策定・実現すること

短大における取り組み

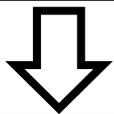
②官学連携事業の充実・発展 本学園の重要な柱となるべく事業

清須市との官学連携事業

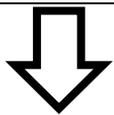
高齢者に対する運動教室



清須市民げんき大学



平成30年度私立大学研究フ
ランディング事業として計画



本事業をさらに充実・発展



げんき大学卒業生を地域
高齢者の介護予防や
認知症予防などに携わる
リーダー的な存在に育成¹⁵

短大における取り組み

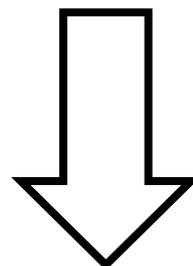
③障がい者スポーツの啓蒙・普及活動

本学園の重要な柱の一つ

- 出前授業等によって培ってきた障がい者スポーツの啓蒙・普及活動
- 2020年の東京パラリンピック協力連携施設



さらに発展



- スペシャルオリンピックスへの協力
- AJU自立の家との連携
- 名古屋シティハンディマラソンへの協力
(タイホウグループ)等々

短大における取り組み

④ 産学連携事業の推進

本学と地域企業である株式会社
和田製作所とのロボット共同研究

株式会社和田製作所



株式会社メティセオとの防災対策
の協働社会貢献事業

株式会社メティセオ



減災・防災対策に積極的

短大における取り組み

⑤ 災害医療救護を本学園の重要な柱の1つに！

清須市

- 東海豪雨で甚大な被害
- 今後も水害が危惧
- 南海トラフ地震では液状化現象が危惧



災害対策は
最重点項目の一つ

本学は清須市にある
唯一の医療系大学



大規模災害時には災害医療で本学の
担うべき役割は地域から大きな期待
本学園が特色ある学園となるために
災害医療救護を本学園の柱の1つ

期待に沿うためには災害救護活動ができる人材の育成

短大における取り組み

⑥ 本学園と日赤愛知県支部との協定の締結



協定の締結

日赤が実施する災害訓練に参加
日赤の災害対応のノウハウを修得



清須市との災害救護に関する連携、総合防災訓練に参加、企業
(株式会社メティセオ等)との産学共同事業としての災害救護活動

本学園が主となって、災害訓練・災害救護研修会の実施、地域住民
に対する災害医療の啓蒙、救護班の育成、災害救護への参加等

短大における取り組み

① ボランティア活動の推進

ボランティア活動は本学園の重要な活動の一つ



保育園との連携事業



清掃活動(きよすグリーンアップ作戦)



障がい者スポーツ領域でのボランティア活動

日赤の活動を支えているのは地域のボランティア
赤十字活動の本質はボランティア活動
日赤のボランティア活動を通じてボランティア精神を修得 20



日本赤十字社

わたしたちは日本赤十字社の活動を支援しています。

短大における取り組み

⑧同窓会組織をより強固なものに！

本学園同窓会組織の強み

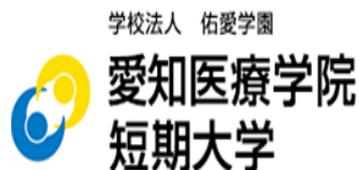
- 37年間の本学の歴史
- 1,700名以上の卒業生を輩出
- 全国500近くの医療施設で本学の卒業生が活躍
- 卒業生のネットワーク、人脈の大きさ
- 在校生にとって臨床実習や就職先確保の強力な支援者



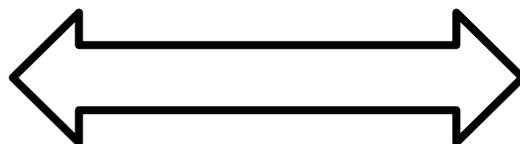
- 本学園のさらなる発展に同窓会組織の支援は不可欠
- 同窓会組織をより強固なものにし、本学園との密接な関係を構築
- 卒業生が自慢できる学園、卒業生が近寄りやすい学園

短大における取り組み

⑨名古屋第二赤十字病院との密接な連携



密接な連携・交流



 名古屋第二赤十字病院
日本赤十字社

- 学生の実習や就職
 - リハビリ教員の交流
 - 災害救護活動
 - 「ロコモ外来」
 - 等々
- 赤十字病院
 - 高度急性期病院
 - 災害拠点病院
 - 国際救援拠点病院
等の指定

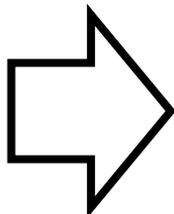
本学園の目指す方向性とは合致
本学園にとっても大きなメリット

短大における取り組み

⑩ その他の取り組み

短大が直面している様々な課題

- 入学者数減少
- 留年・中途退学者の増加
- 学生教育の質向上
- 教職員の過重労働等



解決策としての一案

入学者としての社会人・留学生の受け入れ

コーチングの導入

情報通信技術(ICT)の導入

教職員の過重労働軽減策

委員会の整理、会議の在り方等

教職員全員で対策を検討、学長が全面的にサポート

表1. 会議の進め方ガイドライン

会議をより有意義、かつ効率的に行うために、会議の進め方のガイドラインを作成しました。このガイドラインに従って会議を進めることにより、参加者を会議に集中させ、規律を持たせ、主体制を持たせることができます。司会者（委員長）は下記に示すガイドラインに従って、会議を進めいただくようお願いをいたします。

記

- 会議のための事前の準備をしておく
- 会議のテーマや議題は事前にメールなどで参加者に連絡をしておく
- 会議の開始時に資料を確認し、会議の目的をはっきりさせ、以下のどれに当たるのか参加者全員で確認する。
 - 意思決定のための会議
 - 問題解決（計画）のための会議
 - 評価・フィードバックのための会議
 - 情報共有のための会議
 - アイデアを出し合うための会議
- 会議が始まる時に、必ず目標の確認を行い、参加者全員から同意をとる
- 会議の終了時刻を明確にして、必ずその時間に終わるようにする
- 会議中は個々の発言の意図が参加者全員にきちんと伝わるようにする
- 参加者は会議中に少なくとも1つは気のきいた意見を言う
- 言いたいことがあれば会議の最中に言う
- 会議の最中には、愚痴を言わない、ひそひそ話をしない
- 参加者全員が望んで会議に参加する
- 問題点を明確にしてそれに対する解決策を出すことに注力する
- 会議を終える前に決定した事柄が現実的かどうかを再確認する
- 会議を終えた時に参加者全員が会議の評価をする（10点満点評価）
- 会議の議事録を作成する
- 会議を終えた時に全員が達成感を持つ
- 会議の流れをしっかりと作る（事前準備⇒目標の明確化⇒現状の把握⇒目標と現状のギャップの明確化⇒行動プランの策定⇒振り返りと検証）

短大における取り組み

⑩その他の取り組み

他大学との連携・コンソーシアムの形成

- 教育プログラムの改善
- 教育レベルの向上
- 学生・教職員の資質向上
- 他大学との積極的な交流

グローバル化の推進

- 外国人留学生、外国人職員の受け入れ
- 外国の大学との交流
- 学園のグローバル化に向けた取り組み

教職員全員で対策を検討、学長が全面的にサポート

学園全体における取り組み

①3つのキーワード

やりがい、主体性、チームワークを重視

やりがい

教職員にとってやりがい、働きがいのある学園作り、日々日常の仕事の中でのやりがい

主体性

主体的に物事を考え行動する姿勢、教職員ばかりでなく学生にとっても最も必要とされている資質、主体性を持った人材の育成

チームワーク

本学園が一丸となって目指すビジョンに向かって進むためにはチームワークが不可欠、短大、クリニック、こども園のチームワーク、OT・PTのチームワーク、教員と職員のチームワーク等

学園全体における取り組み

②コーチングによる組織改革

全教職員・学生に3つのキーワード(やりがい、主体性、チームワーク)を修得させるためには、組織改革が必要で、そのための投資も必要になる

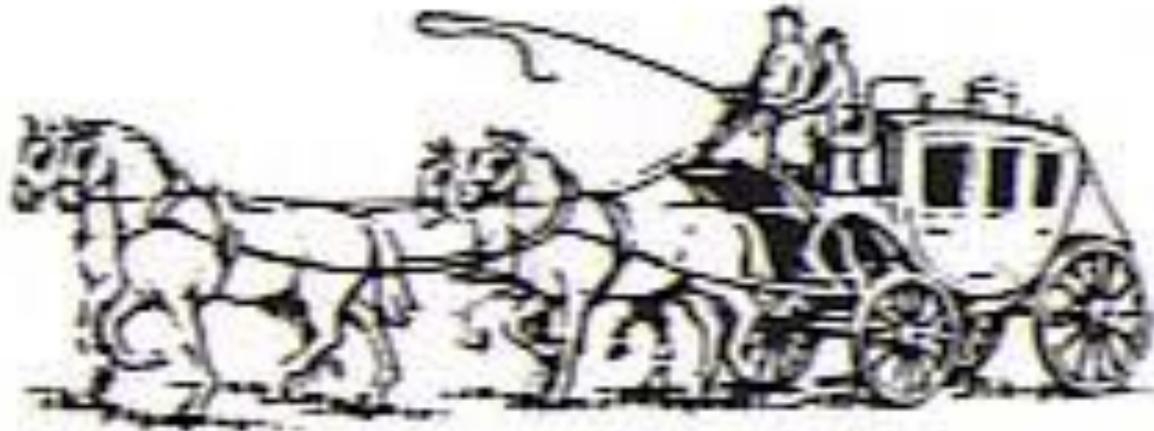
フロのコーチの言葉



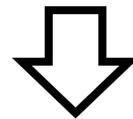
組織を変えるには、何かを変えるか、何かを止めるか、何かを始めないと変わらないですよ。

コーチングとは？

Coachの語源 = 馬車



人、荷物を目的地まで送り届ける



相手の目標を達成させる

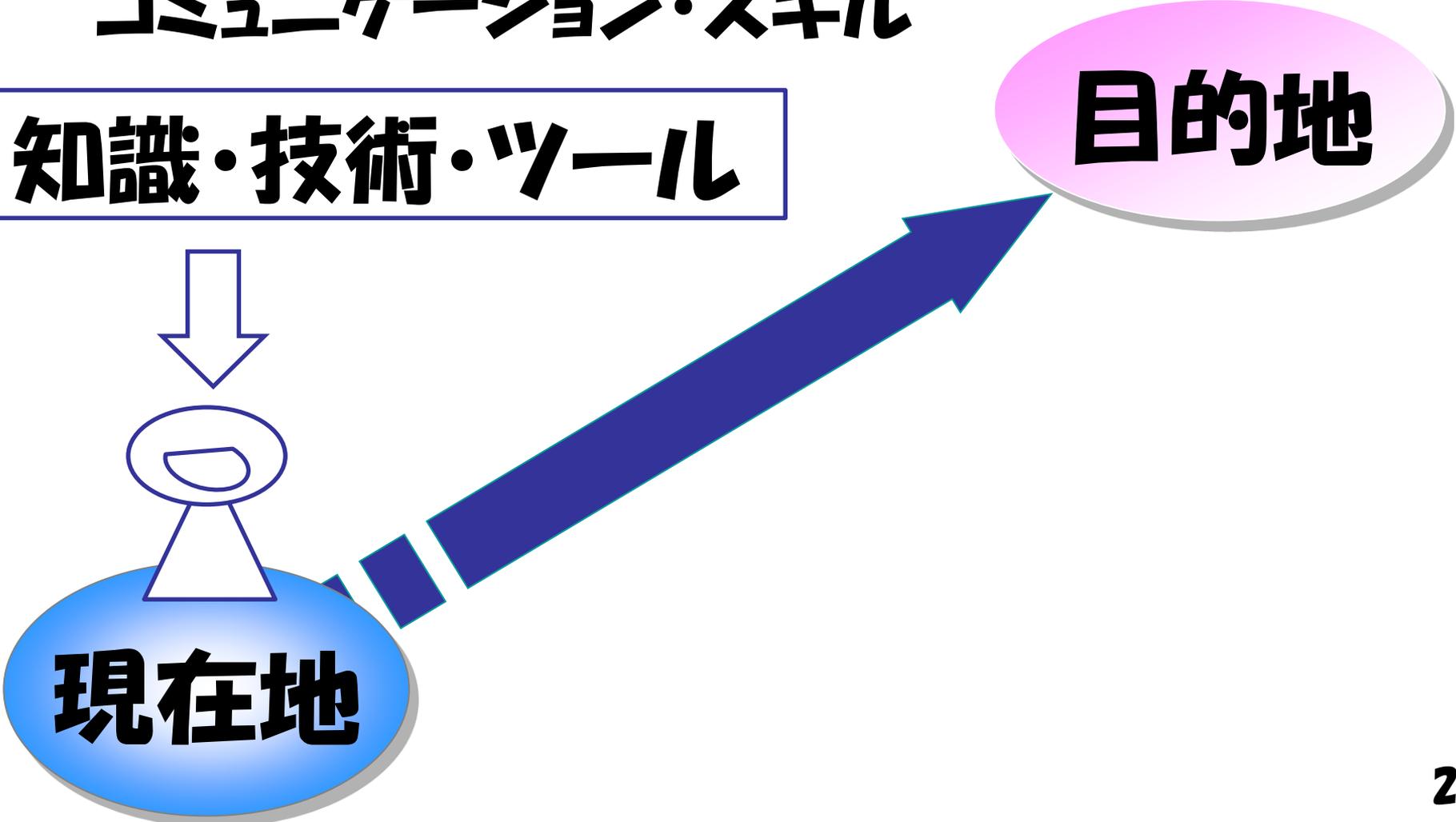
コーチングとは？

相手の自発性を引き出す
コミュニケーション・スキル

知識・技術・ツール

目的地

現在地



学園全体における取り組み

②コーチングによる組織改革

コーチングを学園の風土とすることによって得られるもの

- 3つのキーワード(やりがい、主体性、チームワーク)の修得
- リーダーのリーダーシップ
- 人材育成等々

教職員がコーチング・スキルを修得することで、本学園が抱えている学生の留年・中途退学者の問題解決の一助となる！

学園全体における取り組み

②コーチングによる組織改革

理想とする佑愛学園



学園創立40周年
記念日2022年4月

学園創立40周年に向けて
理想とする佑愛学園に！



教職員・学生を同じ船に乗せて

手段として

コーチングについては
全学園的取り組みが導入
後ほど詳しく説明

現在の佑愛学園



2019年4月

学園全体における取り組み

③教職員・学生(園児)の健康を第一に!

本学園は健康に深く関わる業界

いま『健康経営』の取り組みが注目

『健康経営』とは「企業が職員の健康に配慮することによって、経営面で大きな成果が期待できる」との基盤に立ち、健康管理を経営的視点から考えること

健康とは単に病気でないということではなく、
心身共に健康で生き生きとして働ける状態

「教職員・学生(園児)の健康」を重点項目と位置づけ
一人ひとりが自らの健康増進を意識し
心身ともに健康で生き活きと働くことができるように!

③教職員・学生(園児)の健康を第一に!

佑愛学園健康経営宣言

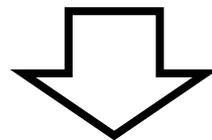
- I. 佑愛学園は、開学以来培ってきた「仏心尽障」の基本理念に基づき、障がいをもつ人々の心身を広く支えるばかりでなく、自らも健康の保持・増進活動を実践することにより、健康づくりを推進していきます。
- II. 教職員・学生(園児)一人ひとりが自らの健康増進を意識し、心身ともに健康で生き生きと働き・学ぶことができることが、学園の発展につながると考えます。
- III. さらに、健康に関する様々な事業活動を通して、世の中全ての人々の健康づくりに資することで社会に貢献していきます。

学長 石川 清

③教職員・学生(園児)の健康を第一に!

禁煙対策(禁煙教育、敷地内禁煙の徹底)

- 本学学生は卒業後は医療従事者として患者の健康を預かる仕事に就くことになる
- 自らがその手本となるべき立場にある
- ほとんどの医療施設は現在敷地内禁煙を徹底
- 本学は将来そういう環境に入っていく学生を育てる立場にある



全教職員・学生による積極的な禁煙対策の推進

③教職員・学生(園児)の健康を第一に!

- クリニックで教職員・学生(園児)の健康管理
- 健診データを一元管理できるシステム(日通システム)の導入
- 規則正しい生活習慣(食習慣、運動習慣)の啓蒙
- 禁煙対策(禁煙教育・敷地内禁煙の徹底)の推進



禁煙のすすめ

禁煙のすすめ

タバコ煙には多くの有害物質が含まれている

タバコ煙の成分

タバコ煙の成分	身のまわりの例
➤ アンモニア	悪臭源、し尿
➤ ホルムアルデヒド	シックハウスの原因、塗料
➤ トルエン	シンナーの主成分
➤ フェノール	消毒殺虫剤の主成分
➤ ベンゼン	ガソリンの成分
➤ シアン化水素	殺そ剤
➤ カドミウム	電池、イタイイタイ病
➤ 一酸化炭素	車の排気ガス
➤ ダイオキシン	ごみ焼却煙

約200種類の有害物質
60~70種類の発がん物質



学園全体における取り組み

④ 広報活動の推進

広報活動は学園の発展のために非常に重要！

ホームページをはじめとしたネット上での本学園の広報を重視



色々な情報を積極的に発信

経営改善の取り組み

① 学園の健全経営が大前提

2018年の中央教育審議会答申

学校法人に対して、経営困難な場合に撤退を含む早期の適切な経営判断を促す指導

本学園の厳しい経営状況



経営改善は喫緊の課題



学園一丸となって取り組む必要あり

ボランティア・社会貢献活動は、健全経営の下ではじめて意味があるもの

健全経営は学園運営の大前提！

経営改善の取り組み

②収益事業としてのクリニックの活性化

地域の人達から信頼されるクリニックに！



患者数の増加、収益の増加



可能であれば年度内に黒字化を目指す

学園に関わる全教職員が自分事として捉え
現場の職員が中心となって早急にその方策を考案

経営改善の取り組み

③学納金の確保

入学者数の確保、中途退学者の減少を図ることにより確実に学納金の確保、従来からの様々な取り組み、学生教育へのコーチングの導入等新たな取り組み

④補助金・交付金の増収

研究活動、社会に必要な取り組みなどによって得られる補助金・交付金の増収

⑤寄付金収入の増加

様々な社会貢献活動を積極的に推進、企業、個人等からの寄付金を学園の重要な財源の一つ

最後に

学長のリーダーシップは、教職員のフォロワーシップに裏打ちされたものでなければなりません。私が学長としてリーダーシップを発揮するに当たって、教職員の皆さんのフォロワーシップ、ご支援をよろしくお願いいたします。

フォロワーシップとは、部下であるフォロワーが主体的な判断や行動で上司を支え組織における成果の最大化を図ること

ご清聴
ありがとうございました。

